

平成31年度（令和元年度）

シラバス

青翔開智中学校

第2学年

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	現代文	3	中学2年	必修

科目の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。				
学習内容の概要	話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと的能力を育成するための事項について指導する。なお、授業冒頭には読解、漢字の小テストをそれぞれ週1回程度実施する。				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重しようとしているか。	目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や意見の違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の対話を尊重して話し合う能力を身に付けるとともに、話し合いを促して考えを広げようとしているか。	目的や意図に応じ、社会生活にかかわることについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けるとともに、文章を書いて考えを広げようとしているか。	目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けるとともに、読書を生活に役立てようとしているか。	伝統的な言語文化を楽しみ、言葉の特徴や書きまりや漢字などについて理解するとともに、漢字の行書とそれに調和した仮名を使用しているか。
評価の方法	以下の内容を総合的に判断して評価する。 単元テスト、小テスト、提出物、成果物、授業態度				
教科書・教材等	現代の国語2(三省堂)、ワーク(三省堂)、標準新演習中2国語(エデュケーションネットワーク)、新明解国語辞典(三省堂)、プリント、視聴覚教材				
授業形態	クラス別				

年間学習計画										
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点	
1学期	4	「名づけられた葉」	読む(韻文)	6					○	
		模試対策								
	5	「小さな手袋」	読む(文学的文章)	10						
	6	「人間は他の星に住むことができるのか」	読む(説明的文章)	9						
	単元テスト(6月中旬)									
7	ビブリオバトル	話す・聞く	9							
2学期	9	模試対策		6						
		書写	書く	4						
	10	「走れメロス」	読む(文学的文章)	8						
	単元テスト(10月中旬)									
	11	「壁に残された伝言」	読む(説明的文章)	6						
	12	「動物園でできること」	読む(評論的文章)	6						
単元テスト(11月下旬)										
3学期	1	「達人のことば」	読む(説明的文章)	5						
		模試対策		6						
	2	「ポテト・スープが大好きな猫」	読む(文学的文章)	8						
	単元テスト(2月下旬)									
3	グループ新聞	書く	8							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	古典	2	中学2年	必修

科目の目標	言葉の特徴やきまり、伝統的な言語文化、書写に関する事項を身につけること。				
学習内容の概要	言葉の特徴やきまりでは、口語文法のうち、ことばの単位と自立語について理解する。伝統的な言語文化では、文語特有の語彙やきまり、訓読の仕方を理解し、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界と触れ合う。また、古典には様々な種類の作品があることを理解する。書写では、楷書と行書の特徴をとらえ、実践する。				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	国語で伝え合う力をすすんで高めるとともに、国語に対する認識を深めている。話す・聞く・書くことで思考を上げている。読書を生活に役だてている。	目的や場面によって、立場や意見の相違をふまえた話し方、意見を比較する聞き方、相手の対場を尊重した話し合いをしている。	目的や意図によって、構成を工夫して、主張が効果的に伝達されるように文章化している。	目的や意図によって、内容や表現の仕方に注意して文章を読み取り、知識や体験と関連づけて自分の意見をもっている。	伝統的な言語文化を楽しむ、言葉の特徴やきまりや漢字などについて理解するとともに、漢字の行書とそれに調和した仮名を使用している。
評価の方法	以下の内容を総合的に判断して評価する。 単元テスト、提出物、成果物、授業態度				
教科書・教材等	現代の国語2(三省堂)、ワーク(三省堂)、練成口語文法必修編2・3(育伸社)、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)、新明解国語辞典(三省堂)、古語辞典(三省堂)、新漢語林(大修館書店)、プリント、視聴覚教材				
授業形態	習熟度2クラス編成				

年間学習計画											
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	助動詞 助詞	言葉の特徴やきまり	22							
	5										
	6	「短歌の世界」「短歌十首」	読む(韻文)								
	単元テスト(6月中旬)										
	7	敬語	言葉や特徴の決まり								
2学期	9	「枕草子」	伝統的な言語文化	26						○	
	10		熟語の読み								漢字
	単元テスト(10月上旬)										
	11	「徒然草」	伝統的な言語文化								
			方言と共通語								言葉の特徴やきまり
	単元テスト(11月中旬)										
	12	平家物語「冒頭部分」	伝統的な言語文化								
単元テスト(12月上旬)											
3学期	1	「平家物語」「教盛の最期」	伝統的な言語文化	20						○	
	単元テスト(2月中旬)										
	2	「漢詩の世界」	伝統的な言語文化								
	3										
単元テスト(3月上旬)											

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	地理	2	中学2年	必修

科目の目標	広い視野に立って、地理的分野に対する関心を高め、諸資料に基づいて多角的・多面的に考察する力を付ける。			
学習内容の概要	二年次には日本のさまざまな地域や身近な文化について調査し、データや資料にまとめる。 また、世界各地の様子を気候や地域・生活や習慣などを通して考察していく。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用 of 技能	知識・理解
	地理的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。	地理的課題を見だし、地域的特色を環境条件や生活と関連付け多面・多角的に考察し、公正に判断し、過程や結果を適切に表現する。	地図や統計、映像などの資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、活用することができる。	日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付ける。
評価の方法	単元末テスト 60%		成果物・提出物・各活動における意欲と態度 40%	
教科書・教材等	新しい社会 地理(東京書籍)、中学社会科地図(帝国書院)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	○日本の諸地域 ○地域の調査	・関東地方 工業,世界との結び付き 人口集中の課題と対策 ・東北地方 伝統文化,生活 産業を活性化させる人の流れ ・北海道地方 自然の制約に適応した人々の暮らし 多文化共生	8				○	
	5			8					
	6			8					
	7			8					
2	8	○世界の諸地域	・アジア州 気候,地形,産業,文化,世界の中のアジア ・ヨーロッパ州 気候,地形,産業,文化,ヨーロッパの現在 ・アフリカ州 気候,地形,産業,文化,植民地支配の歴史 ・北アメリカ州 気候,地形,産業,文化,アメリカ合衆国 ・南アメリカ州 気候,地形,産業,文化,ブラジルの環境 ・オセアニア州 気候,地形,産業,文化,移民と多文化社会	8				○	
	9			8	○				
	10			8					
	11			8					
3	12			8					
	1			8					
	2			8					
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	歴史	2	中学2年	必修

科目の目標	日本や世界の諸地域を比較し関連づけて考察し、各地域が相互に関係しあっていることを理解する。			
学習内容の概要	基本的には板書中心の座学で授業を進める。板書だけの授業であると単なる暗記になってしまうことも考えられるため図表を投影し、まずは根底に流れる歴史背景を理解させることで知識の浸透を促す。「書く」ことにより理解が阻害されてしまう生徒はiPad利用でのメモも認める。図書館利用学習はテーマ設定の幅を広く設け、生徒同士で共有することで生徒全員が広範な知識を得られるものとする。			
評価の観点	知識の獲得	ロジカルシンキング	ボーダーレス感覚	授業への意欲
	基本的な語句の意味を理解でき、語句の活用ができる。	物事を筋道立てて考える力が養われている。	他者の背景や主張を炊いたの立場に立って理解でき、受容する力がある。	通常授業や活動など様々な場面で意欲を継続することができる。
評価の方法	図書館利用学習での成果(レポート・発表など) 提出物 授業内における意欲と態度 40%		小テスト	60%
教科書・教材等	新しい歴史 東京書籍 中学必修テキスト 中学 社会(歴史) 新編 新しい社会 基礎・基本徹底ワーク(4～7章)			
授業形態				

年間学習計画											
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点		
1	4	近世の日本	産業の発展と幕府政治の動き	6							
	5	開国と近代日本の歩み	欧米の進出と日本の開国	6							
			明治維新	6							
	6	単元テスト	日清・日露戦争と近代産業	4							
7		全国水平社と差別の歴史	4								
2	8	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と日本	6							
	9			単元テスト	8						
	10			単元テスト	世界恐慌と日本の中国侵略	8					
	11			単元テスト	第二次世界大戦と日本	8					
	12			単元テスト	原爆ドームと平和	6					
3	1	現代の日本と世界	戦後日本の発展と国際社会	8							
	2	単元テスト	新たな時代の日本と世界	8							
	3	単元テスト	歴史まとめ	6							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	幾何	2	中学2年	必修

科目の目標	図形の性質を通じて定義や公理、定理などの事柄を理解し、論理的に事柄を説明する力を身につけること。			
学習内容の概要	「確率と標本調査」では事象の起こりうる場合の数を考え、その確率を計算するとともに、データの扱い方を知る。「図形と相似」では相似な2つの図形における性質を用いて、「線分の比と計量」では面積比を用いた三角形の性質を用いて、線分の長さや角の大きさを求める。「円」では、円周角の定理や円の接線の性質をもとに角の線分の長さや角の大きさを求める。「三平方の定理」では三平方の定理を用いて線分の長さを求める。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	図形の性質や位置関係などに関心を持ち、それらを用いて意欲的に問題を解決へ導こうとする。	定義や定理をもとに、見通しを持って事象を考察したり表現したりすることができる。	角の大きさや面積等を正確に求めることができる。また、仮定から結論までを根拠をもって証明することができる。	図形の定義や性質を正しく理解し、論理的に考察したり表現したりする必要性と手法を身につけている。
評価の方法	単元テスト	60%	態度	40%
教科書・教材等	中学校 数学2 (数研出版) 体系数学2 幾何編 (数研出版) 体系問題集2 幾何編 (数研出版)			
授業形態	習熟度別2クラス編成			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	確率と標本調査	場合の数 確率の計算 標本調査	18					
	5								
	6								
2	7	図形と相似	相似な図形 三角形の相似条件 平行線と線分の比 中点連結定理 相似な図形の面積比、体積比	28				○	
	8								
	9								
	10								
	11								
2	12	円	円周角の定理 円の性質の利用 円の接線 接線と弦のつくる角 方べきの定理	18					
	1	三平方の定理	三平方の定理 三平方の定理と平面図形 三平方の定理と空間図形	14					
3									
2									

教科名	科目名	時間数	対象学年	履修形態
理科	科学	4	中学2年	必修

科目の目標	目的意識を持って観察・実験・調査・発表を行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。自然の事物・現象についての知識・理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。							
学習内容の概要	生物分野:動物の生活と生物の進化 地学分野:地球の大気と天気の変化 化学分野:化学変化と原子・分子 物理分野:電流の性質とその利用							
評価の観点	関心・意欲・態度		判断・思考		観察・実験の技能・表現		知識・理解	
	自然科学の事物・現象に関心・探究心を持ち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。		自然科学の事物・現象に問題を見だし、事象を科学的に考え、判断できる。		自然科学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。		自然科学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。	
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%	成果物	20%	授業態度	20%
教科書・教材等	啓林館 『未来へひろがるサイエンス2』							
授業形態	一斉							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	ガイダンス(生物分野)		4				○	
		1章 生物の体と細胞	生物と細胞	34					
	5	2章 生命を維持するはたらき	消化と吸収、呼吸器官とそのはたらき・血液の成分						
		3章 感覚と運動のしくみ	骨格と筋肉・感覚器官、刺激と反応						
	6	4章 動物のなかま	動物の分類						
		5章 生物の移り変わりと進化	生物の変遷と変化						
7	ガイダンス(地学分野)		2						
	1章 空気中の水の変化	空気中の水蒸気 雲・霧の発生と水の循環	34						
9	2章 天気の変化と大気の動き	大気のはたらき							
	3章 大気の動きと日本の四季	前線と天気の変化 大気の動きと日本の天気							
2	10	ガイダンス(化学分野)							
		1章 物質の成り立ち	物質の分解	34					
	2章 物質を表す記号	原子と分子・化学式							
	12	3章 さまざまな化学変化	物質が結びつく変化、化学変化のしくみと化学反応式						
4章 化学変化と物質の質量		酸化と還元・化学変化と熱 化学変化と物質の質量							
3	1	ガイダンス(物理分野)		2					
		1章 電流の性質	回路と電流・電圧、電流と電圧の関係・オームの法則	34					
	2章 電流の正体	回路とオームの法則・合成抵抗、電気とそのエネルギー							
	3章 電流と磁界	電流と磁界、電磁誘導、静電気と電流							
	まとめ	問題演習(2年生のまとめ)	10						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
音楽	音楽	1	中学2年	必修

科目の目標	リズムや旋律・ハーモニーなど、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や良さを感じ取って、生き生きと表現活動を行うこと。			
学習内容の概要	一人ひとりの音楽に対する関心の違いや知識の差を個性として認めつつ、様々な時代の音楽の様式に触れながら、その楽曲を形づくっている諸要素や良さを感じ、関心や意欲を高め、表現の工夫を深める。			
評価の観点	関心・意欲・態度	音楽的な甘受と表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	①音楽への興味関心が授業に積極的に取り組む態度となっている。 ②グループで協力し合い、協調性を持って取り組む姿勢を持っている。	①曲の持っている良さや特質に関心を持ち、自己のイメージを生かして表現している。 ②曲想に相応しい実現を工夫し、演奏表現に生かしている。	①歌唱に於いて発声や言葉の意味を知覚し表現している。 ②器楽において演奏技術の習得や音色の工夫に励んでいる。	①曲の持っている情景や心情を感じ取り、味わいながら聴いている。 ②作曲の背景や作風・演奏構成・作品を構成する諸要素を知覚し、理解を深めている。
評価の方法	定期考査 60%	実技テスト 25%	授業態度 15%	
教科書・教材等	中学生の音楽2・3(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)、アルト・リコーダー			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	○翼をください	拍の流れにのって明るい声で歌う。	6				○	
	5	○交響曲第5番ハ短調 ○合唱コンクール曲 夏の思い出	曲の構成、曲想の変化を学ぶ。						
	6	○カノン (リコーダー演奏)	曲の良さやまとまりを感じ取って表現する。	5					
	7	○夏は来ぬ	曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って、演奏や合唱をする。	3					
2	8	○合唱曲・大切なもの	フレーズの特徴を生かした表現を工夫する。	4					
	9								
	10	○花 ○アイーダ	パートの役割や旋律の重なりの特徴を感じる。 作曲の背景や作風・演奏構成を学ぶ。	4				○	
	11	○アカペラ合唱曲 ○勲進帳	旋律の重なり方の変化を味わって合唱する。 作品の背景やそれをかたちづくっている諸要素について学ぶ。	4					
	12	○荒城の月 ○日本の郷土音楽	詩や曲の雰囲気にあった声で言葉を大切に歌う。	3					
3	1	○リコーダー曲	曲想を感じ取って速度や強弱の変化を生かした演奏表現をする。	4					
	2	○ワークシート・音楽の基礎知識	音楽用語・記号の読み方や意味を理解する。	5					
	3	○天使にラブソングを	DVD鑑賞を通して、ミュージカルの構成や良さを感じとる。						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
美術	美術	1	中学2年	必修

科目の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。							
学習内容の概要	表現・美術を愛好する心情を培う。心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 ・対象を見つめ感じとる力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や、形や色彩などによる表現の技術を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 鑑賞・自然の造形や美術作品などについての基本的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞能力を高める							
評価の観点	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力				
	主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していることとする。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。	感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。	美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさを感じ取り味わったり、理解したりする。				
評価の方法	定期考査	50%	発想・構想	20%	技能	20%	授業態度	10%
教科書・教材等	美術(日本文教出版)、スケッチブック							
授業形態	一斉							

年間学習計画												
学期	月	題材	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点			
1	4	ガイダンス	・レタリングを基に創作文字を表現する。	17				○				
	5	創作文字										
	6											
	7											
	8											
2	9	対話型鑑賞	・話し合いながら世界の名画を深く鑑賞する。	4								
	10											
	11									スクリブル	・創造し絵を生み出す。	7
	12											
3	1	トリックアート	・トリックアートを制作する。	7								
	2											
	3											

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健体育	3	中学2年	必修

科目の目標	①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学習内容の概要	体育分野の内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。また、能率的で安全な集団としての行動の仕方(集団行動)を各領域において適切に行う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、健康・安全に留意して運動をしようとする。	運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	【関心・意欲・態度】安全に配慮して行う、挨拶や声かけ、協調性 【知識・理解】単元ごとのペーパーテスト(年間10回) 【技能】単元ごとのスキルテスト(年間10回) 【思考・判断】課題解決に向けて、質問したりアドバイスをすることができる。			
教科書・教材等	保健体育(大修館)			
授業形態	男女別			

年間学習計画									
学期	月	題材	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	体づくり運動	オリエンテーション、軽スポーツ、集団行動、補強運動、新体力テスト	9					
	5	球技 陸上競技 [中距離]	AIアプリを活用しフォームの分析、レペティション、インターバル、1500mタイム測定	9					
	6	球技 ゴール型 [バスケットボール]	パス練習、ドリブル練習、シュート練習、試合	12					
	7	球技 ベースボール型 [ソフトボール]	・打撃・捕球・送球などの用具操作 者と連携した打撃による攻撃とその守備	・走 ・ゲーム 9					
2	8	球技 ネット型 [バドミントン] 体育理論	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	9		○			
	9								
	10	球技 ゴール型 [サッカー]	パス練習、ドリブル練習、シュート練習、試合	12					
	11	球技 ゴール型 [ハンドボール] 体育理論	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・自分のシュートフォームをiPadで撮影して改善点を見つける。	12					
	12	ダンス [ジャズダンス] 保健分野	基本動作の習得、発表	9					
3	1	球技 ネット型 [卓球] 保健分野	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	9		○			
	2								
	3	器械運動 [マット、跳び箱] 保健分野	基本的な技の習得	6					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健体育	3	中学2年	必修

科目の目標	①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「水泳」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、健康・安全に留意して運動しようとする。	運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	【関心・意欲・態度】安全に配慮して行う、挨拶や声かけ、協調性 【知識・理解】単元ごとのペーパーテスト(年間10回) 【技能】単元ごとのスキルテスト(年間10回) 【思考・判断】課題解決に向けて、質問したりアドバイスをすることができる。			
教科書・教材等	保健体育(大修館)			
授業形態	2クラス合同、男女別			

年間学習計画									
学期	月	題材	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	体づくり運動	・集団・整列 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・体カテスト	8					
	5	体育理論 球技(ハンドボール)	・パス、シュート、ドリブル等の基礎練習 ・ゲーム	12					
	6	陸上	(長距離走)リラックスした走り、自分にあつたピッチとストライドを見つける。	10					
	7	球技(バレーボール)	・対人パス、ゲームのルールを理解する。 ・ゲーム	10					
	8								
2	9	球技(ソフトボール)	・打撃、捕球、送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備の理解 ・ゲーム	10					
	10	球技(バスケットボール) 体育理論	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・自分のシュートフォームをiPadで撮影して改善点を見つける。	10					
	11	球技(バドミントン) 体育理論	・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	8					
	12	武道(空手)	・基本形 ・約束組手	8					
3	1	ダンス 保健	(現代的なリズムのダンス) グループで曲を選択し、オリジナル練習をして発表。	14					
	2								
	3	器械運動 卓球	(マット運動)グループで教え合い、技の練習。 (卓球) ・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	15					○

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
技術	技術	1	中学2年	必修

科目の目標	木工制作をとおし、企画、設計、制作、批評する力を育成する。 工夫して想像することの大切さを感じ、技術的なものの見方を身につける。			
学習内容の概要	「〇〇に必要な椅子」をテーマに椅子の企画から設計、制作を行う。 全行程にデザイン思考を導入し課題解決型の木工制作を行う。 関係者を招いた制作発表会をひらき、外部評価をうけ、さらに他者の制作物への批評を行う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解
	木工制作に関する技術について関心をもっている。	木工制作に関する技術を適切に評価し活用できるか。	目的や条件に応じて、木工制作の技術を適切に選択し、活用できている。	木工制作に関する技術と、社会や環境とのかかわりについて理解している。
評価の方法	ポートフォリオ	成果物	発表	
教科書・教材等	技術・家庭(技術分野) (開隆堂)			
授業形態	一斉			

年間学習計画											
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点		
1	4	フィールドワーク(企画) ディスカッション(企画) 世界の椅子について講演会	「〇〇に必要な椅子」というテーマのもと、〇〇へフィールドワークへでかけ現地調査を行う。学内にて持ち帰った情報をもとにディスカッションを行う。	3				○	○		
	5			4							
	6	ブレインストーミング(設計) 設計図作成(材料・設計) プロトタイプ	ブレインストーミングで図書館に必要な椅子のアイデア出しを行い、設計図の作成を行う。使用材料や加工方法を考えながら設計を行う。	3							
	7			3							
2	8	木工制作	けがき、切断、切削・穴あけ、組み立て・仕上げの各工程を様々な工法とともに進めていく。	0	○	○					
	9			プロトタイプ制作(木材による制作)						プロトタイプ制作は制作器具の取り扱い方法を学びながら進める	4
	10			中間発表(中間評価)						中間発表を木工メーカーの制作担当者に対して行う。プロから直接アドバイスを受けることでプロトタイプ修正の手がかりを見つける。	4
	11									3	
3	12			4	○						
	1			3							
	2			4							
	3	最終発表	企業、大学、行政から外部講師者を招き、制作物の発表会を実施する。外部からの講評を得ることで、制作物を客観的に評価する。	3							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	家庭	1	中学2年	必須

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。			
学習内容の概要	自分の食生活に関心を持ち健康的な食習慣を考える。中学生に必要な栄養の特徴を学習し日常食の調理を行う。地域の食材や食文化についても理解する。 消費生活について権利と責任の理解、また環境に配慮した消費生活を工夫できるようにする。			
評価の観点	関心・意欲	創意工夫	技能	知識理解
	授業の準備、態度、忘れ物有無、ノート整理、課題提出物の状況、自主的な発表	作品への工夫	工具・用具の正しい使い方、作品完成度	授業中の応答、定期テスト
評価の方法	定期考査	60%	授業態度等	40%
教科書・教材等	「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂出版			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1 学期	4	食生活 健康と食生活	食事について考える、生活のリズムと食事	2					
		〃	栄養素のはたらきと食品	4					
	5	〃	中学生に必要な栄養	3					
	6	〃	生鮮食品の選び方、いろいろな加工食品	6					
2 学期	7	調理をしよう	食事の計画、調理の基本	3					
	8	〃							
	9	〃	朝ごはんの調理	2					
		〃	弁当をつくろう(肉の調理)	3					
	10	〃	野菜の調理(五目チャーハン)	3					
	11	〃	魚の調理(サバの味噌煮)	3					
	12	食品の表示	食品添加物を知る	3					
3 学期	1	〃	〃						
	2	身近な消費生活と環境	商品の選択と購入	2					
	3		よりよい消費生活のために	1					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
外国語	英語	6	中学2年	必修

科目の目標	英語学習を通じて言語や文化に対する理解を深め、能動的なバーバルコミュニケーション活動を行う姿勢を築く。4技能型の新大学入試受験を見据え、聞く、読む、話す、書くの全てにおいて、バランスよく学習し、能力向上を目指す。 中学生レベルの基礎～発展的な英語を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意向を理解できるようにする。また中学生レベルの基礎～発展的な英語を用いて自分の考えなどを書いたり、話したりすることができるようにする。			
学習内容の概要	上記の目標を達成するために、Online Speaking Training・図書・プレゼンテーションなどのさまざまな活動を通して聞く、読む、話す、書くの全てにおいて、バランスよく学習し、能力向上を目指す。本学年次在籍中に英検3級取得を目指す。			
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・読むこと・書くこと)	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	間違ふことを恐れず積極的に活動に取り組んでいるか。	当該レッスンにおける文法ポイントを含む文を正しく話したり、音読したり、書いたりできるか。	当該レッスンにおける文法のポイントを含む文を正しく聞き取ったり、読み取ったりできるか。	当該レッスンにおける文法のポイントやそこで扱われた語句・表現、発音・強勢・イントネーションについての知識があるか。
評価の方法	図書館利用学習での成果(演劇・レポート・発表など) 提出物 全活動における意欲と態度		40%	テスト(Reading, Speaking, Listening) 60%
教科書・教材等	New Crown II (三省堂)、New Treasure English Series Stage1 Second Edition、New Treasure English Series Stage1 Second Edition 文法問題集、New Treasure English Series Stage2 Second Edition、New Treasure English Series Stage2 Second Edition 文法問題集(以上、Z会)			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	オリエンテーション		1					
		New Treasure Stage1 Lesson7-8、多読	命令文/canを用いた文、現在進行形、多読活動	20				○	ロジカルシンキング
	5	New Treasure Stage1 Lesson9、英語劇	一般動詞の過去形、英語劇(因幡の白兔・オリジナル結末作り)	18	○			○	クリティカルシンキング
		多読、New Treasure Stage1 Lesson10-11	多読活動と本の紹介ポップ作成、be動詞の過去形、未来を表す表現(be going to)	26				○	創造と表現
2	8	New Treasure Stage1 Lesson12-13	いろいろな助動詞(will, can, may, must)、There is [are]～の文、将来やりたいことを英語で発表	25				○	ロジカルシンキング
	9	New Treasure Stage1 Lesson14、多読	比較(原級・比較級・最上級)の文、多読活動とポスター作成	18				○	創造と表現
	10	Online Speaking Training							
		New Treasure Stage2 Lesson1、	助動詞表現/文型(SV, SVC, SVO)、レポート作成	21				○	
	11	Online Speaking Training							
12	New Treasure Stage2 Lesson2-3、	to不定詞(名詞用法・副詞用法・形容詞用法)、副詞節を導く接続詞(when, ifなど)	33			○			
3	1	英語劇、	英語劇、名詞節を導く接続詞that、文型(SVOO, SVOC)	28	○	○		○	クリティカルシンキング
	2	New Treasure Stage2 Lesson4							
	3	New Treasure Stage2 Lesson5	動名詞、レポート作成	26			○	○	

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
道徳	道徳	1	中学2年	必修

科目の目標	道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度など の道徳性を養成すること。特に、道徳的価値、およびそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深化させることで、道徳的実践力を育成すること。			
学習内容の概要	①主として自分自身に関すること、②主として他の人とのかかわりに関すること、③主として自然や崇高なもののかかわりに関すること、④主として集団や社会とのかかわりに関することについて、様々な視点・手法でアプローチする。特に中学2年次は「Diversity & Inclusion」の第Ⅱ期として、現代的な多様性を中心に学習する。			
評価の観点				
評価の方法	数値等による評価はしない。			
教科書・教材等	新しい道徳 中学校			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント・評価等				
					プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	Social Skill Training II	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	2					
	5	Diversity & Inclusion II	発達障害について理解を深める。合理的配慮によって困難を解消できる可能性があること、それは発達障害のある人のためのみならずすべての人のためになることを確認する。	4	○				
	6		内部障害について理解を深める。また、ヘルプマークの普及啓発に取り組む。	4	○				
	7	Social Skill Training II	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	7					
2学期	9	Social Skill Training II	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	7					
	10	Diversity & Inclusion II	子どもの権利条約について学習する。自分たち一人ひとりが人権をもっていることを確認する。	2					
	11		男女共同参画社会について学習する。声をあげる、連帯する、といった社会を変革する力に気づく。	4					
	12		多様な性について理解を深める。自己のアイデンティティを深化させるとともに、一つの要素はその人の一側面でしかないことを確認する。	4	○				
3学期	1	Social Skill Training II	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	4					
	2	Diversity & Inclusion II	外国にルーツをもつ人について理解を深める。また、日本の外国人政策について議論する。	4					
	3	Social Skill Training II	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	4					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
総合的な学習の時間	探究基礎Ⅱ	2	中学2年	必修

科目の目標	デザイン思考を活用し、創造的に課題解決ができるようになる。
学習内容の概要	デザイン思考を使って創造的に課題解決を行います。夏から始まる職場体験においてフィールドワークによって企業の課題を発見します。発見した課題を解決するためのワクワクする提案をしてください。そしてその方法をチームのみんなで力を合わせ実現させてください。実際に企業に提案し、評価してもらいます。職場体験実施までの期間はデザイン思考の使い方や、校内でプレ課題解決を実施しデザイン思考を使う練習を行います。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考を活用できたか。 ・チームで協力して課題解決できたか。 ・データに基づいた根拠ある課題設定や、データに基づいたテスト(検証)ができたか。 ・解決策をプロトタイプとして形にできたか。 ・解決策の提案に対して共感を得ることができたか。 ・設定した課題は解決されたか。
評価の方法	ポートフォリオ 成果物 発表
教科書・教材等	毎回の活動をiPadに記録(ポートフォリオ)していきますのでiPadを忘れないように。
授業形態	一斉

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	オリエンテーション	全体スケジュール、デザイン思考について ポートフォリオについて、アントレプレナーシップとは	6		○			
	5	【共感】・【問題提起】	校内のデータ収集、データをもとに課題設定	10	○		○	○	
	6	【創造】 【プロトタイプ作成】・【テスト】	課題解決策を提案 課題解決策の実行、データ収集、分析	4 6				○ ○	
	7	【フィードバック】発表 プログラムCamp	校内発表 ハックフォープレイ寺本講師	2 8	○ ○	○	○		
2	8	【共感】	フィールドワーク(職場体験、行動観察等)	8			○		
	9	【問題提起】	企業の課題は何か？	4					
	10	【創造】	課題の解決策は？	4				○	
	11	【プロトタイプ作成】	解決策を形にしよう！	8				○	
	12	【テスト】 【フィードバック】	解決策を実践してみて変化を調べよう！ 各社へ中間報告しよう	4 4	○ ○		○		
3	1	修正	中間発表を経て、不足していた部分を修正 必要があればデータを改めて収集	8			○	○	
	2	発表準備 青開学会	ポスター作成・発表練習	4 4	○				
	3	まとめ	各社へお礼状作成・郵送	6					